

カ ウ ス タ ー

Frog hunting service



暴力的なシーンが
あります。
18
成人指定



南方より
出雲の地へ戻る神あり
「ここは本来、我ら先住民が納める地―」

この神社の源流となつた土着神は、
それを阻止しようとする。
大量の鉄の輪は朽ち落ちたが
それでも立ち向かう。

激しい戦いの末、
湖へ追い込まれてしまう。

ついに捕らえられてしまつたが、
大和の神に一つの噂が流れる。
この慈悲深い神様は民の為に
戦いを放棄したという。 ”自ら”

それを悟つた南方の神は怒り、
土着神の真意を確かめようと
自らの荒縄で責め苦を
与えるのであつた―



この地の地母神にして
土着神・洩矢諏訪子

カウズガ

Frog hunting service

お前が負けを認め
忠誠を誓うなら
私の僕たちを
労ってもらおうか

んんん

んんん

んんん

いつの時代も
負けた国は

勝った国のもの
それが戦の常だろう？

んんん

んんん



国の民との
別れの挨拶を
させてやってるんだ

私は優しいだろう？



諏訪子様
すみません

すみません



うっ
うっ
んっ



諏訪子さま：

私は何て
罪深いのでしょ？

ブル
ブル
んん



もう、五月蠅い
私だってこんな事
したくないんだ

誰でも良いから
女やめなさい

いっつもいっつも
せつらねえ

でも、故郷を捨て
私に付いて来た民の
願いを叶えさせるのも
神様の役目だろう？

若い衆を連れて来たのが
間違いだったか



はま
こんな見た目
小さい子にこんな

はま

ひっ

ぐんぐん

へへへ
唾まないのでくださいな

おぬ!

びんびん

人間の男に勝られる
屈辱に耐え切れず
本性を曝け出すがいい



私との戦いで
民の為にワザと
負けただなんて許せん

そんな事をしなくとも
私が勝っていたー!

鉄の輪が錆びたのを
見たであろう?

キョッ



うあッ

グイン

ほら、嫌なら
縄を干切ってもー

臭い

罰あたりー!

はま

ほら大人しく
しねえか!

ガッ

やだよう

そんな物
押し付けないで

ちん

ちん



はま
お、俺も
俺も

クッ
クッ

クッ
クッ

どやあ

クッ
クッ

遠征にきてるくに
水浴びしてないですが
簡便してくださいね

はま



諏訪様
ーじーちもー



諏訪子様の
小さな舌がっっっ

ああ：
諏訪子様の蕾が
急に濡れて：
ハアー

こっちが
先だったんだよ



喉の奥までぬるぬるで
気持ちいいっ

おおおっ



うっ

勿体無いけど

ガキガキ

口の中で
舌が蠢いてっ

も
もう駄目だっ



一国の神様もこうなったら
大人しいもんだな



ホラどけよ

あぁ

そっちの縄引っ張って
足上げさせてください

あぁ？
もういい頃合じゃないか

オエッ

ううっ

諏訪様...

誼訪様ああ

はあー、はあー
柔らかい

か
や
め
と

ふひひ

おいそ「井」まで
許してないぞ

そんな！
ここまできて
抑えられますか

そーだ

グー

そーだ

グー

うっ

うっ...

大丈夫ですよ
無理はしませんから

狭いから
ゆっくり...

ん？
処女膜は無いみたいだな

でもキッ

これなら遠慮は
いらなそうだ

碧

碧

ほら
思い切り突くぞ？

いや、嫌っ

中までよく
濡れてやがる

それ

ビクビク

ビク

ビク

ズク
ズク
ズク



なん... だ？



なんだ... この違和感は

早く回せ

次は俺だ

こいつの意思は関係ない

早くしろ



先ほどから何か
引っかかっている



「これは」

やっと気付いたね？



先ほどから疼く身体

何かと導かれるように、
諏訪子を慰めものとした自分

子供のよ様な体の
「いつ」に欲情する兵達



考えてみれば最初から
何かがおかしー



戦事は得意みたいだけど
こういう攻撃は
慣れてないみたいだね

神奈子

お・まえっ



あーあ

みんな戦に勝って
心が隙だらけなんだから



力をちよつと
借りたのさ

幾つものミジヤグジを
束ねてきた私は
人を操るのも得意だね



発情
石神の能力

ねえ、神奈子も
効いてるでしょ？

お前：最初から
これを狙ってたのか

いんや、違うよ
戦で負けたのは本当

最初の約束どおり
この国は明け渡し
私はこの土地から
逃げ出さない事を誓うよ

ただ神奈子と
こっちでも
勝負したいなって：

思ったんだけど
やっぱりオポコっぽいから

あんたじゃ役不足だ

このっ
離せ！！



新しい神に向って
なんだその
バカにした台詞は

許さん

縄は蛇とも
例えられるが

蛇は男性器の象徴とも
言えるのを知っているか？





若い身体には
酷かもしれぬが

仮にも神だ
死ぬ事はあるまい？

初めて使う技だが

「で怯む訳はないか

腹が裂けぬよう
精々祈る事だな

「いいで
良いんだよな？」

これはさすがに
大きすぎたよう

売られる戦では
いかんのだけ



ムムム

おっ

あ

ムムム

ムムム

ムムム

ひびく

ムムム

ムムム

ムムム

全部は...

あ

あ

あ、あれ？
もう出て...

うう

はあ

はあ

うるさい！
私はまだ戦えるぞ
ちやうど吃驚しただけ

はいっ... たっ

うう

あ

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

あ

あ

あ

なんだこいつの中は
又ル又ルして
うねっていて...

吸い付かれるようだ

女性の中は皆
こっとうものなのか？

射精しながら
ばかみたくに
腰振らないでえ



こうして戦いを経た二人の神様は仲直りし

疲れた諏訪子様は捕らえられたまま長い眠りににつき

国と守ると約束を交わした神奈子様は諏訪子様への信仰を糧にこの地に君臨したのである



間の文章

でも間の文章がなくて残念です

そ、そうだな

言えない

私の手で破つただなんて言えない



おしまいっ

これが我が神社の歴史原文なんです



一体何があったのか機会が合ったら教えてくださいね、神奈子様

ア、アア
キカイガアツタラナ
アツタラ!

神奈子の蛇さん...
むにやむにや

純情な早苗には教えられない歴史であった

ほら！陰毛も生えてない
ぶにぶにまんこに
た！くさん子種を
かけてもらいなさい♡

はっ♡

あらやだ！
ちよっと縛っただけで
こんなに濡らしたの？

こんなにまんこ
いっとろにして
いやらしい…♡

その後には…
直接子宮に注いで
貰いましょう♡

んんん♡



お山 10%

と、ゲームでは詳しく語られていない部分を妄想してみました!
カオスで実に申し訳ない(*'ω'*)
タイトルの蛙狩(かわづかり)とは、諏訪子たちの
ネタ元の神社における神事で、祀っている蛇竜に捧げる
正月の儀式からとりました。この罰当たり!
神社に関連する書物を3冊ほど読んだりしましたが
難しすぎてこっくりこっくり……はっ!

分かった事は、
・神話の時代と大社の人物の設定が色々混ざっている事
・早苗さんの元々の人物ががリアルで行方不明
・神奈子の名前元の神社が下社で、
諏訪子が眠っているだろう神社が上社だったとか
元ネタを調べれば新しい発見があって楽しいのですが、
色々設定が混ざってて混乱するのと、
前文でも言ってますが、作る本がえろまんなので同時に
「バチあたりな事シテルワア」と
結構苛まれました…モノモノ。

出産経験説はどこから来たのかが結局わからなかったのですが
ケロちゃん=非処女 神奈子=処女が個人的にツボだったので
こうなりました(*'ω'*)あへへ
冬もなんとか新刊を作れるように頑張りたいと思います。
この本を軽いものにしようとしたのですが膨らんでしまいました。
あと早苗さん期待してた人は申し訳ないー。

と最後に……隣ページ→
の素敵ゲストはえくりぶすの朧月さんでした!
サイトはここ→<http://circleclipse.sakurane.jp/>
緊縛をテーマにしていたのですが、ちゃんと理解して
描いてくれました(*'ω'*)しかもFUTAR!!!
本当にありがとうございます!

はなお 20091005

奥付

発行日： 2009/10/11 (東方紅楼夢5
印刷所： 金沢印刷さま
発行元：くまたんFlash! (はなお)
HP: <http://kumafla.com/>
e-mail: mail@kumafla.sakura.ne.jp

ご意見・ご感想お待ちしております。又、無断転載禁止です

次のページからのカラーは、モノクロ本文中に居たモブ男たちの子孫が、(無礼を働いた)先祖の人たちの変わりに崇られるというお話です。

七代崇るところではないけど寝てたから仕方が無い。きっかけを作ったのは、諏訪子自身なのに酷い話である。神様は気まぐれやさん、というか鬱憤晴らしたいだけらしい。

← extra



ブルブル

和

和

やめなさい

気が付いたら
こうなっていた

少女に道を探ねられた

ぬちゅっ



ガキ
ガキ



ぬちゅっ



ヌホ

「この子が言った
復讐だという」

お兄さん
もう出ちやったの？



ググ



あ

ズン

はっ

ズン

膣がっ

狭いのにつ

ネットリしててえ

すごいつ

絡んでくるのお

ズン

あうっ
ミッチリ
埋まってるよう

ズン

ズン



膣に全部
出されてる

ズン

う...

ああ

ひどいなあ

ズン

ううっ
神経が持って
かれちやった

はっ

中々
やるじゃないか

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

うんっ!?

ズン



ブッポ

無理ですっ
だつてこの
短時間で二回も

だから言
だつた
これは罰
だつて

どろどろ

ひっ
ひっ
ひっ

ド
ド
ド

嫌でも立て
あげるよ

これなら私
も一晩中
楽しめそう
だね

ブッポ



フフフ



きって
こっそり
抜け出して
来たのが
バレル前に
全員回ら
ないとね

どろどろ



ご苦労様
七代崇る所
じゃないけど
これであの
時の無礼は
許してあげ
るよ

ハハハ

End

南方より
出雲の地へ戻る神あり
『ここは本来、我ら先住民が納める地！』

この神社の源流となつた土着神は、
それを阻止しようとする。
大量の鉄の輪は朽ち落ちたが
それでも立ち向かう。

激しい戦いの末、
湖へ追い込まれてしまう。

ついに捕らえられてしまったが、
大和の神に一つの噂が流れる。
この慈悲深い神様は民の為に
戦いを放棄したという。 ”自ら”

それを悟つた南方の神は怒り、
土着神の真意を確かめようと
自らの荒縄で責め苦を
与えるのであったー

